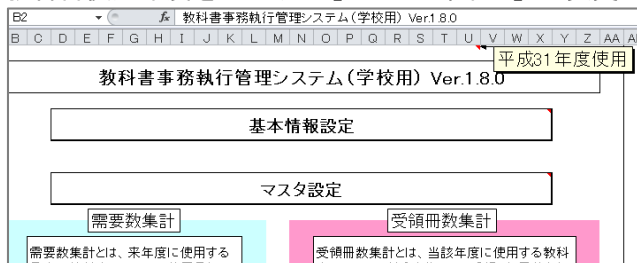


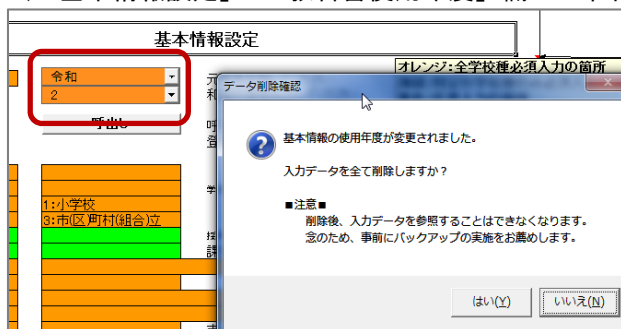
「基本情報設定で元号を令和2年度にすると『平成』時に登録していた児童生徒名簿が呼び出せなくなる」についての対応

事象（再現方法）

1. 教科書使用年度を「平成31」から「令和2」に変更します。

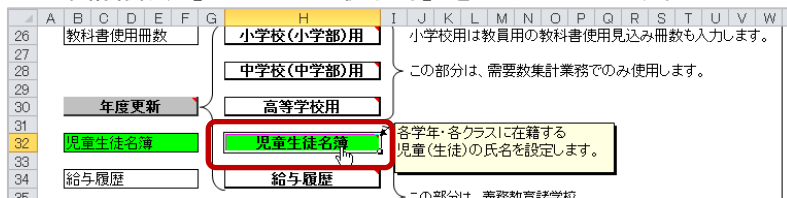


（「基本情報設定」→「教科書使用年度」欄に「令和」「2」と入力）

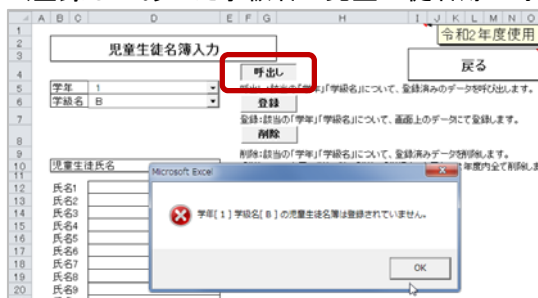


2. [登録] ボタンをクリックします。

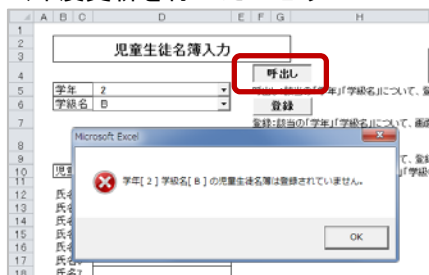
3. 「基本情報設定」→「児童生徒名簿」をクリックします。



（登録してあった学級名・児童生徒名簿の呼び出しができなくなります。）



（年度更新を行ったかどうかわからず、この問題は発生します。）



修正方法

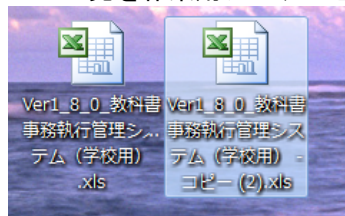
上記の対応については2つの回避方法がございます。

《方法A》 今まで使用していたシステム（Excel ファイル）を継続使用する方法

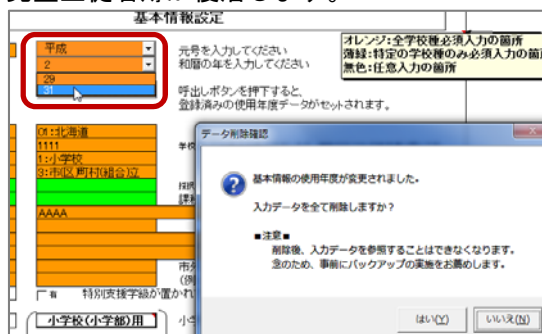
(1) 令和に変更したシステム（Excel ファイル）をコピーします。

(ア) コピー元を継続使用システムとします。

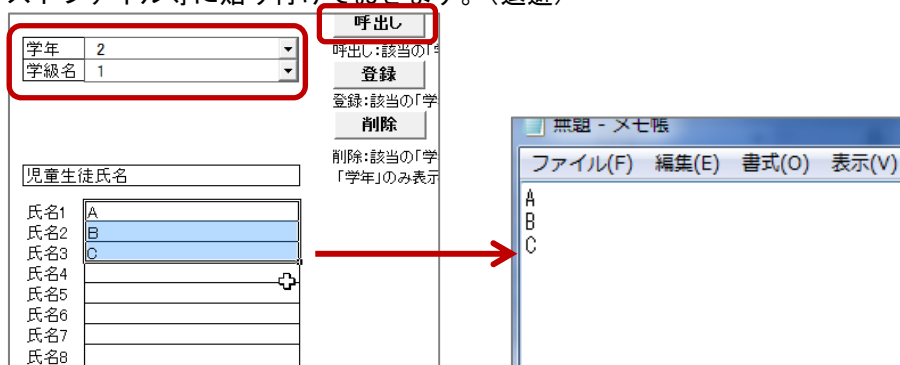
(イ) コピー先を作業用システムとします。



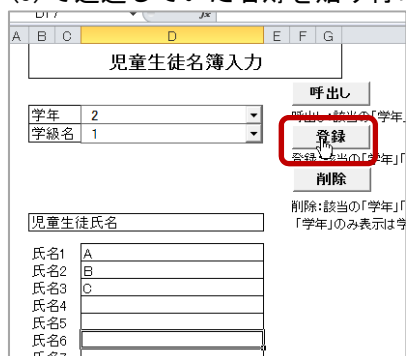
(2) 上記(1)のコピー先の作業用システム(イ)で、基本情報の年度を平成31年度に戻します。児童生徒名簿が復活します。



(3) 平成31年度の状態ですべての学年、全学級の児童生徒名簿を呼び出し、選択してコピーし、テキストファイル等に貼り付けておきます。(回避)



(4) 上記(1)のコピー元の継続使用システム(ア)で、全学年、全学級の児童生徒名簿に、上記(3)で回避していた名簿を貼り付けて登録します。(学年、学級毎に貼り付けを行います。)



《方法 B》 教科書事務執行管理システムをダウンロードして児童生徒名簿を最初から入力する方法

- 児童生徒名簿を最初から入力または貼り付けを行うのであれば、新たに教科書事務執行管理システムをダウンロードして、作成するほうが早い場合がございます。
- 需要数報告、受領冊数報告含め、前年度の報告に使用した教科書事務執行管理システムを継続使用しなくても新規ファイルにて報告は可能です。